

# みことばの分ち合い 7段階法

2021.7

.25

鹿児島司教区

シノス推進会議

信仰部会 長野 宏樹

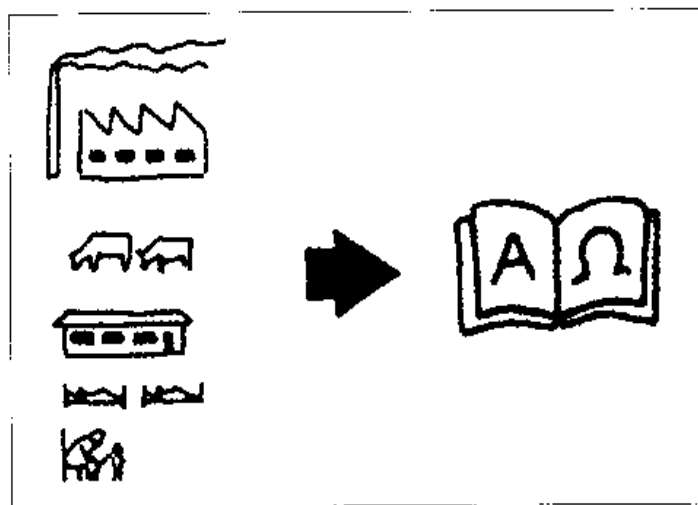




# 今日お話ししたいこと

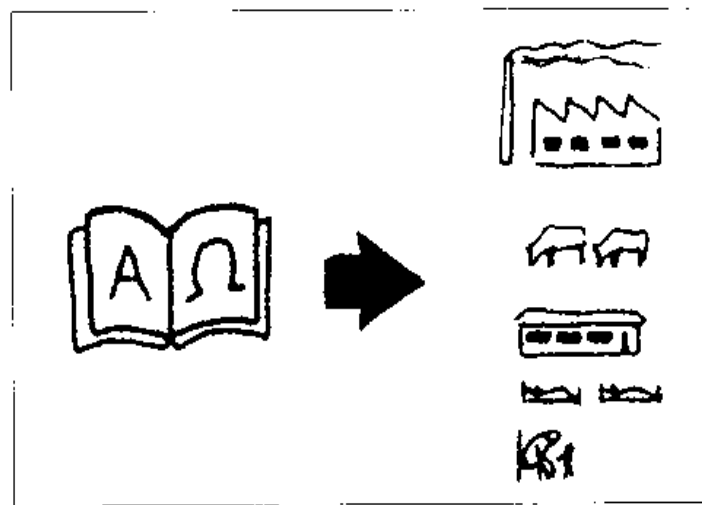
1. 聖書のアプローチの方法
2. 7段階法の目的
3. 7段階法の進め方
4. ステップごとのポイント
5. 分ち合い後の自己評価
6. 7段階法の特徴
7. 導入手順
8. 班制度の効果

# 1. 聖書のアプローチの方法



人生から→聖書へ

ともにこの道を



聖書から→人生

7段階法

## 2. 7段階法の目的

- 復活した主の現存を体験するため
- グループのメンバーが、各自、み言葉に触れるのを助けるため
- 個人の分かち合いにより互いに信仰を深めることを促すため
- メンバー間の個人的つながりを深めるため
- グループ内での信頼感を醸成するため
- 共同体において何らかの活動を計画するために必要な霊的雰囲気醸成するため





## 3. 7段階法の進め方

### 3. 1 7段階法

ステップ1. 招きの祈り

ステップ2. 聖書朗読 1人、もう一人

ステップ3. 心に響いた言葉を3回読む


聖書朗読 1人又は全員

ステップ4. 黙想(3分間)

ステップ5. 分ち合い

ステップ6. 活動の討議

ステップ7. 感謝の祈り



## 3. 2 進行上のポイント

1. 復活したイエズスが中心
2. イエズスと直接交わる(準秘跡)
3. 靈的雰囲気を保つ
  - ・ローソク
  - ・雑談をいれない
4. 6~8人が円形で
5. コメントしない
6. 秘密の厳守
7. 進行係も参加(最初と最後はしない)

# 復活された主キリストの席





## 4. 1 ステップ1のポイント

### ◆ 招きの祈り

1. 自由な祈り
2. 主に来て下さるようお願いする
3. 2～3人が祈る
4. 福音の場面を引用しながら
5. 祈り終わってからローソク点灯



# 招きの祈りステップ1





## 4. 2 ステップ2のポイント

### ◆ 聖書の朗読

1. 朗読個所の名前と章だけを言い、  
全員が開けたのを見てから節をいう。  
(霊的雰囲気壊さないため)
2. 祈るように大きな声で読む
3. 2回祈るように読む  
(できれば違う訳を)

## 4. 3 ステップ3のポイント

### ◆ 心に響いた句や言葉を選ぶ

1. どの句や言葉でもよい(神の言葉は宝)  
(掘りつくすこと、一人で複数箇所)
2. 3回繰り返して読む(じっくり味わう)
3. 読むあいだは、句や言葉の長さだけ  
間を空ける
4. 誰か又は全員でもう一度読む





## 4. 4 ステップ4のポイント

### ◆ み言葉を沈黙のうちに聴く

1. 3分間神の言葉を味わう
2. 神のとの交わりの時間
3. 神は私に何を話したいのか
4. 謝禱で祈ってもよい



## 4. 5 ステップ5のポイント

### ◆ 感じたこと(感情)の分ち合い

1. 心に響いた言葉がなぜ響いたか  
(触れた、気になる)を分ち合う
2. 信仰や生活の体験を分ち合う
3. 説明や説教ではない
4. 討論やコメントはしない



## 4. 6 ステップ6のポイント

### ◆ 活動の報告と今後の計画

1. 前回計画したことの報告
2. 今後の計画の話し合い
3. ここで通常の会議(連絡・行事の相談)に入るのもよい。
4. 読んだところから今後モットーとする「生活のみ言葉」を選び、その結果について次回報告する

# 活動報告・計画(ステップ6)





## 4. 7 ステップ7のポイント

### ◆ 感謝の祈りをする

1. 全員が心からの祈りをする
2. 短くてよい
3. 内容は感謝でも祈願でもよい
4. 聖歌(主の祈り)で終わるとよい





# 5. 分ち合い後の自己評価

第1段階:・祈りの雰囲気があったか

・何かの理由で、祈りの雰囲気を妨害したり破ったりしなかったか

第2段階:・参加者全員が指示された箇所を見つけていたか

第3段階:・間の取り方は充分であったか

・その言葉をゆっくりと声に出して、祈るように読んだか

第4段階:・沈黙の時間が、短かすぎたり長すぎたりしたことはなかったか

第5段階:・個人的な分ち合いであり、「説教や説明」にはならなかったか

第6段階:・聖霊の働きと導きに信頼しながら、話し合ったか

・すべての参加者たちに、話せる時間が与えられたか

・ひとりの人が長く話しすぎたことはなかったか



## 6. 7段階法の特徴

1. なじみやすい
2. 聖書から個人の生活
3. 生活を聖書に照らしてみる習慣の養成
4. 信仰と生活の一致を図るのに適している  
(参加・交わり・宣教)
5. 社会問題解決にはあまりむかない  
(社会問題の場合「共同応答」を使う)



## 7. 導入手順

1. 7段階法について研修会をする。  
(1時間位)
2. 評議会などの会議などで、  
始めと終わりの祈りとして行う
  - ・ステップ3または4までとする
  - ・時間は、15分位。そのために会議が  
長引かぬよう終わる時間は厳守する。
3. 8人位でやれるところから始める。



## 8. 班制度の効果

- 司祭の理解と全ての信者の参与により  
→ 生きている教会に変化
- 「聖書の分ち合い」により  
→ 信仰と生活の一致
- 班内での親しい交わりから  
→ 福音化(宣教)共同体へ